

## どんな夏休みに？

いよいよ21日から子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。1時間ごとにスケジュールが決まっている学校と違い、夏休みは「自分でどう時間を使うか」を考え、実行することがまず勉強です。

夏休み期間中に経験すること全てが「生きる力」につながります。成功体験だけでなく、失敗やトラブル、悔しかったこともみんな大切な学びです。一番よくないのは、『何もしないこと』で、失敗はしませんが、何も得られません。

学校ではあまりできない、貴重な体験ができる41日間になることを願っています。



**夏休みは、社会の一員になる勉強をするチャンス！**

### 仕事を決めて、続けさせよう！

家庭は社会の最小単位だとよく言われます。人が暮らしていく中で最も大切なのは、「役割を担い、仕事をする事」です。

夏休みは、子どもも役割を持ち、仕事ができるチャンスです。仕事は小さなことでもいいと思います。「洗濯物をたたむ」「風呂を洗ってお湯を張る」など、毎日の日課としてやらせてみてください。

そして、「助かったよ！ありがとう。」と声をかけると、やる気もアップすると思います。

### いろんな集団の中で体験をさせよう！

かつて子どもは『集団で遊ぶ』文化を持っていました。集団のルールや集団社会の楽しみや厳しさも遊びながら知りました。集団遊びが減った今だからこそ、公民館や図書館の子ども講座、自然体験や子ども会行事などがあれば、参加させてみてください。新型コロナ感染への心配もあるでしょうが、できるだけの対策をとりながら、思い切った集団の中に放り込むことも時には大切ではないでしょうか。

講座案内の一部は既に配付しています。



### 本の読み聞かせをしていただきました

今年度も、図書ボランティア「おはなしのへや」の皆さんに、本の読み聞かせをしていただいています。朝の読み聞かせは、1～3年生には7月6日、4～6年生には7月13日に行われました。また、昨年度はコロナ禍でできなかった昼休み時間の「おはなし会」も復活し、7月8日に1年生に向けて読んでいただきました。

また、PTA 教養部の皆さんには、図書室の整備（装飾）もしていただいています。いろんな方々に支えられながら、読書活動の充実を図っています。

ちなみに、図書室では夏休み前に一人5冊の本を貸し出します。読書感想文や感想画コンクールの募集もあっていますので、ぜひ家読（うちどく）にも取り組んでほしいです。



### お知らせ

喜々津小学校や中学校で英語の指導をしてくださった ALT のハンナ先生が、日本での勤務を終えて**本国へ帰国**することになりました。諫早市に5年間勤務され、日本語もペラペラの優しい先生でしたので、子どもたちも楽しく英語の学習をすることができました。本校での指導最終日の7月7日は、ハンナ先生との別れを惜しみつつ、最後の授業に臨みました。

